



Title	IDUN ー北欧研究ー 20号 投稿規程／執筆者一覽
Author(s)	
Citation	IDUN ー北欧研究ー. 2013, 20, p. 234-235
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/95533">https://hdl.handle.net/11094/95533</a>
rights	
Note	

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

## 投稿規程

### 1. 投稿資格

本学デンマーク語専攻、スウェーデン語専攻の専任教員、外国人特任教員、非常勤講師、名誉教授、およびデンマーク語専攻もしくはスウェーデン語専攻の教員が主指導教員である本学院生（博士前期課程在学；博士後期課程については在学もしくは単位取得退学後3年以内）、その他編集委員会が認める者に限る。

### 2. 使用言語

本文は、日本語、デンマーク語、スウェーデン語、英語のいずれかを使用する。本文を日本語で書いた場合はデンマーク語、スウェーデン語あるいは英語のレジュメを、本文をデンマーク語あるいはスウェーデン語で書いた場合は英語もしくは日本語のレジュメを、本文を英語で書いた場合はデンマーク語、スウェーデン語もしくは日本語のレジュメを加えること。なお、欧文は必ずネイティブチェックを受けること。

### 3. 掲載内容

学術論文、研究ノート、翻訳（著作権は執筆者が責任をもってクリアしていること）、書評、資料、報告。ただし、院生は学術論文もしくは研究ノートの投稿に限る。

### 4. 査読について

投稿された原稿は、編集委員会が委嘱した外部査読者を含む複数の査読委員の査読結果に基づいて編集委員会が掲載の採否を決定する。

### 5. 原稿枚数

基本的に学術論文と研究ノートは、規定7の書式に応じた枚数で換算して10枚から30枚程度までとし、書評、報告は5枚から20枚程度までとする。

### 6. 原稿形態

完全原稿で（電子媒体ならびにプリントアウトしたものを3部）提出すること。

### 7. 原稿書式

Word 2000以降のMicrosoft Wordを用いて、以下の書式に従い執筆すること。

① ページ設定：横書き B5判 注は後注とする。

左余白 27 mm, 右余白 27 mm, 上余白 27 mm, 下余白 27 mm

a) 本文が日本語の場合：本文 36字×35行 / 1頁

文字 10.5ポイント

後注 10ポイント

欧文レジュメ 36字×36行 / 1頁

文字 11ポイント

b) 本文が欧文の場合：本文 34字×36行 / 1頁

文字 11ポイント

後注 10ポイント

日本語レジュメ 36字×35行 / 1頁

文字 10.5ポイント

欧文レジュメ 34字×36行 / 1頁

文字 11ポイント

② 執筆形式は本号と同じ。詳細は「IDUN執筆形式の手引き」を別途配布する。

### 8. 発行部数

250部を発行する。抜き刷りは各執筆者へ50部が配布される。

### 9. 著作権

著作権は執筆者に帰属する。ただし編集委員会は、それらの著作物をデータベース化し、電子媒体（ウェブサイトなど）で公開する権利を保有する。

執筆者一覧 (ABC 順)

Breck Pedersen, Thomas (本学 言語文化研究科 言語社会専攻 デンマーク語特任講師)

古谷大輔 (本学 言語文化研究科 言語社会専攻 准教授)

Hannesdóttir, Anna Helga (Göteborg 大学 スウェーデン語学科 准教授)

石黒暢 (本学 言語文化研究科 言語社会専攻 准教授)

Larsson, Ulf (本学 言語文化研究科 言語社会専攻 スウェーデン語特任准教授)

大辺理恵 (本学 外国語学部 デンマーク語非常勤講師)

Ralph, Bo (Göteborg 大学 スウェーデン語学科 教授, スウェーデン・アカデミー会員)

清水育男 (本学 言語文化研究科 言語社会専攻 教授)

新谷俊裕 (本学 言語文化研究科 言語社会専攻 教授)

高橋美恵子 (本学 言語文化研究科 言語社会専攻 教授)

田辺 欧 (本学 言語文化研究科 言語社会専攻 教授)